

平成 19 年 10 月 15 日

各 位

日本信号株式会社  
代表取締役社長  
西村 和義

弊社自動改札機の不具合について

謹 啓 平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度は弊社の自動改札機のトラブルにより、大勢のご利用の方々に多大なご迷惑をお掛けし、誠に申し訳ございません。

トラブルの原因は、ICカード判定部を搭載した自動改札機において、中央のコンピューターから送信されたデータをICカード判定部の記憶部に読み込むプログラムの一部に不具合があり、データを正常に読み込むことができず機器異常となり改札機がダウンしました。

又、このデータ数がある件数以上、且つある条件下で発生する仕組みであった為、品質保証の過程で発見されず潜在化し、10月12日になって中央から配信されたこのデータ数が条件範囲にヒットした事により、顕在化したものと判明いたしました。

尚、本日現在においては、システムは正常に稼動しております。

弊社は現在、品質向上への取組みに全社を挙げて取り組んでおりますが、この最中に、この様な事態を発生させた事は痛恨の極みと重く受け止めております。

今回の件は、ある範囲のデータが配信された際に発生するソフトのバグでしたが、従来このような場合の検証は、最小値や最大値または中間といった節目での検証を行ってまいりました。

今後は無差別検証を更に増加し、事前・事後の設計審査を充実させ、再発の徹底防止を図る所存でございます。このため膨大なソフト検証の為に自動ツール化を更に推進いたします。

また現納入機につきましても、事業所内の同機種にて今後数ヶ月に亘る再々検証を予定しており、事故再発防止に万全を尽くす所存であります。

弊社は「社会的責任と公共的使命を認識し、社会の信頼を確保する」、更には「安全と信頼」を企業理念・倫理憲章に掲げておりますが、今回や前回(2006年12月1日)の事態は、この理念を深く傷つけたものであり、今後は一日も早い信頼の回復に全社員が総力をあげて取り組む事をお誓いし、深くお詫び申し上げます次第です。

謹 白